



7月 園だより

平成29年6月29日
園長 小久保 篤子



〒106-0046

港区元麻布 3-8-15

(3408) 4785

ホームページ : Nanzan-kg.

minato-tky.ed.jp

プール遊びが始まりました。
水と仲良しになるうね。



5歳児の杏ジャム作り
真剣に一つずつ種取りです。



グループごとに数を数えたところ
全部合わせて139個ありました。



心を揺り動かす体験

こくぼ たくこ
園長 小久保 篤子

先日、5歳児が校庭で収穫した杏を使い、地域の千川原さんに教えていただきながら杏のジャム作りをしました。

子どもたちは、杏の種取りと、スプーンで潰して柔らかくするところまでを行いました。下準備を終えると、千川原さんが「種を数えてごらん。杏がいくつ採れたかわかるよ。」と言いました。そこで、子どもたちは「100個くらいある。」「300個あると思う。」などと予想をたて、グループごとに種が何個あるのかを数え始めました。

数え方は…というのと、ボールに入っている種をもう一つのボールに移す、一列に並べて数える、一列の前後に1個ずつ並べて数える、格子柄のテーブルクロスの一マス一マスに1個ずつ置いて数える…など様々。ところが、数人で一度に数えているので、途中で数がわからなくなります。「あ、違う。もう1回最初から。」などと言いながら、何度もやり直しているうちに、各自がバラバラに数えていると数えられないことがわかり、友達同士で順番に1個ずつ足すという方法を考え出し、どのグループも自分たちが納得するまで数えていました。「園長先生、139個ありました！」と報告にきた時の表情は、自信に満ちていました。

大人は、簡単にかつ正確に数を数える方法をつい教えたくくなります。この時、担任教師は「考える時間」をとる援助をしました。考える時間があったことで子どもたちは自ら思考を働かせ試行錯誤することができ、また自分のグループと他のグループの考えた方法の違いにも気付き、学級全体に満足感をもたらしました。

このように一つ一つの体験が子どもたちの心を揺り動かす体験となり、一連の活動が関連性を持ち、新たな意味や価値が生み出されるようにすることがその後の学びを豊かにします。今後も子ども自らが「育とう」とする気持ちをしっかり支えていきたいと考えています。

＜南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて＞

「整理・整頓をしよう」

